

仮装して滑走大会

～ゲレンデにおしりかじり虫やエイサー隊も！～



元気いっぱいノリノリで踊る赤松分校の児童

大山スキー場管理組合が主催する名物イベント「仮装して滑走大会」が1月27日(日)に大山中の原スキー場で行われました。ゲレンデを様々な格好にふんして滑走し、パフォーマンスをするといふこのイベントも今年で7回目を迎えました。当日は雪が降りしきり、300メートル先のスタート地点がやっと見えるくらいでしたが、地元、大山小学校赤松分校の「チームあかまつ」を



▲2年連続グランプリの「世界一幸せファミリー」の「美女と野獣」



◀日本の伝統芸能でアピールした愛媛県のフォックスキッズ。見事な水芸・・・のはずが、寒さで水が凍るハプニングが。



参加者もエイサーを踊り心が一つに

はじめ、大山町と交流のある沖縄県の「恩納村エイサー隊」ほか、愛媛、徳島、岡山、山口県から計7チーム、60人の参加があり、寒さも吹き飛ばす熱気あふれる大会となりました。

赤松分校全児童が参加した「チームあかまつ」は、日ごろの練習の成果を十分発揮し、滑走中はきれいな編隊を組んで滑りをアピール。ゴール地点では「おしりかじり虫」の音楽に合わせて元気よく踊りました。また、恩納村の青年会13人による「エイサー隊」は、寒さの中、勇壮な踊りを披露してイベントを盛り上げたほか、

雪を詰めたゴミ袋をソリにして滑走し、会場の注目を集めました。グランプリには、岡山県から家族3世代で参加し、デイズニーのアニメ「美女と野獣」の衣装で滑走した「世界一幸せファミリー」が、2年連続で輝き、準グランプリには、地元「チームあかまつ」が輝きました。

そのほか会場では、リフト優待券や香取村のむヨーグルトなどがもらえる「じゃんけん大会」や境港市観光協会によるカニ汁の振る舞いもあり、参加者をはじめ来場のみなさんは大満足の様子でした。

ブナの巨木を探索

2008大山ホワイトウオーク

今年で5回目を迎えた大山観光局主催の「大山ホワイトウオーク」。

その名のとおり、スノーシュー(西洋かんじき)を履いて雪の降り積もる大山のブナの森を散策するイベントです。今回33人の参加者の中に、前回参加した方が半数以上を占めました。それだけ冬の大山の美しさに魅了された人が多いということでしょう。

今回のテーマは、「巨木探索」。雪の積もる冬だからこそ、普段人が足を踏み入れることのないところにひっそりとたたずむブナの巨木に出会えるのです。

威厳をたたえるブナの巨木に出会った瞬間、一同息を飲みました。4人が手をつな



ブナ林へ入っていきます

がないと届かない幹の周囲は、なんと5メートル40センチ。自然の大きさを感じる一瞬でした。

2時間の散策では物足りないという声もありましたが、冬の大山でしか感じるこのできない感動を胸に、来年も参加を誓う参加者の皆さんでした。(表紙関連)